

議会報告会での主な意見・提案・要望等の回答書

意見・提案・要望等	観光地の整備、伊万里市のPRを通じて人も呼び込む対策を		
回答部署	総務委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>観光地の整備については、本市には全国的に有名な「大川内山の窯元」をはじめ、桜やつつじなど旅行者に好まれる花の名所や公園、海水浴場といった自然豊かな観光資源を備えています。その他に今後、新たな観光地を整備することは難しいと思われませんが、今ある観光資源を十分に活用した誘客に努めるよう求めてまいります。</p> <p>魅力ある観光地づくりについては、議会といたしましてもその必要性について十分認識しておりますし、過去の一般質問等で取り上げた経緯があります。</p> <p>また、市のPRについては、第1期総合戦略を今年9月まで半年間延長した上で、効果検証を行いながら、第1期の課題や問題点を踏まえつつ、第2期戦略の策定をすることとされています。大きく第1期と異なるところとしましては、本市が今年度から特に力を入れる「シティプロモーション」を総合戦略の中心として位置づけられる点であります。</p> <p>この施策を通じて伊万里市を広くPRすることにより人を伊万里市に呼び込む戦略でありますので、議会といたしましてもその成果に期待をしています。</p>			

意見・提案・要望等	道の駅ふるさと村の活性化		
回答部署	総務委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>道の駅伊万里ふるさと村は、伊万里牛の焼肉や果物の収穫体験など様々な観光素材に恵まれており、活用方法やアイデアによってはまだまだ大きな可能性を秘めた場所であると思います。ふるさと村を伊万里市の東の玄関口として魅力ある施設にすることで、西九州自動車道延伸後も観光客の市内への誘導のために大変重要な役割を担うと考えます。</p> <p>道の駅という施設にとって、ご当地ソフトクリームといったここにしかない「名物」が必要ですが、ふるさと村の大きな武器である果物（梨、ブドウ、イチゴ、金柑等）を活用した新たな商品開発をしてはどうかという提案を行ったところです。</p> <p>ふるさと村におかれては、誘客の要としての当施設の活用方法について自由に議論を行っていただき、専門のコンサルタントを招くことも含め、早急な対応をお願いしたいと考えます。</p>			

意見・提案・要望等	伊万里玉屋跡地に新たな施設を		
回答部署	総務委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里玉屋は、市内外の多くの方々から愛された百貨店でありましたが、約 50 年の歴史に幕を閉じ閉店されております。</p> <p>当施設は伊万里市の所有ではないため、今後の跡地利用等については、関係者の判断に委ねることになります。</p> <p>市が新たな活用を考えるためには、耐震診断と改修のみでも数億円のコストが必要となり、残念ながら現在の財政状況では、極めて困難と考えています。</p>			
【歴史】			
と き	で き ご と		
昭和 41 (1966)	・伊万里で初めての百貨店として開店		
昭和 42 (1967)	・7月の豪雨「42水」により大きな被害を受ける		
昭和 52 (1977)	<ul style="list-style-type: none"> ・大幅増床 (約 4,820 m²→約 13,740 m²) ★結婚式場やレストラン、屋上遊園地などもあり、伊万里市民はもとより、周辺からも多くの来客でにぎわった 		
平成 25 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> ・改正耐震改修促進法により、不特定多数の人が利用する商業施設など (3階建て以上、総床面積 5000 m²以上) は、平成 27 (2015) 年までに耐震診断を受けることが義務付けられた 		
平成 27 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> ・増床部分の耐震診断を受けたが、県や学識者でつくる耐震判定委員会から店舗全体の診断を求められた ・この場合、耐震診断に約 4,000 万円、改修には数億円かかる見込みとなった ・一方で、少子高齢化や郊外型店舗の増加により、経営状況が悪化し、2010 年に売り場を 1~2 階に集約し、売り上げはピーク時の 4分の1 以下に減少していた ・田中丸社長は、「多額の投資にかなう業績の維持・向上は困難と判断した」として、閉店を表明 		
平成 28 (2016)	・1月31日、多くの人に惜しまれながら閉店		

意見・提案・要望等	企業誘致等を通じ若者が働く場、地元に戻ってこられる環境整備をしてほしい		
回答部署	総務委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>企業誘致、働く場の確保等につきましては多数のご意見がありました。</p> <p>伊万里市ではこれまでの製造業を中心とした企業誘致に加え、新たに女性や、高校、大学新卒者、UJターン希望者の就業の受け皿となるIT関連企業等の事務系企業の誘致活動を展開してまいりました。その結果すでに数社のIT関連企業が操業を開始しています。また、新たな工業団地として松浦町に「伊万里東部工業団地」を整備し、本年度から分譲が開始されます。</p> <p>議会としても、少しでも多くの若者が市内に残り就職することができるよう、受け皿となる企業の誘致等による雇用の場の確保に向けて、若者定住の重要施策として、伊万里市の取り組みを支援していきます。</p>			

意見・提案・要望等	伊万里市の男子トイレにおむつを替えるスペースを		
回答部署	総務委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里駅ビルを始め市内の公共施設には、ベビーシートの設置自体は進んでいますが、いずれも多機能トイレ内に設置されています。多機能トイレは、優先順位はあるもののだれでも利用することができる施設でありますので、ベビーシートが設置されているということが分かりやすい表示を設けるなど、まずは多機能トイレを気軽に利用できる環境づくりが必要であると考えます。</p> <p>今後伊万里市でも公共施設の再編や改修、新設などの計画がある際は、様々な人々が利用するトイレなので、安全で使いやすく、利用する人の立場に立った設計が必要だと思われまます。男性、女性の区別なく、子育てをする保護者や障害を持った方々にもやさしいトイレを整備する必要性を認識したところです。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者のふれあい ・高齢者と子どもたちの交流をもって、昔遊びの伝承を ・特色ある学校づくり ・教員 OB に学習支援をしてもらう ・学校のグラウンドを開放出来ないか 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>園児と高齢者のふれあいは、各保育施設等で様々な取り組み（田植え、芋ほりなど）が行われています。また小学校においても、学年分会行事等で、地域の方々との交流による田植え、稲刈り、野菜作り等が行われています。</p> <p>現在、コミュニティスクール（学校運営協議会）設置が進められており、コミュニティスクールが進められる中で、地域の方による学習支援や学校グラウンドを含め施設活用についても地域の方々と一緒に、特色ある学校運営がなされるよう、議会として他市町の状況を調査研究し提案していきます。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の年齢が離れていると多子の助成が一部受けられない ・多子世帯への助成がほしい 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>保育料の助成として、一定の要件を満たす世帯の0歳～2歳児までの園児の2人目は半額、3人目は0円となっています。また、義務教育での給食費については、小学校1年生から満18歳に達する学年（高校に進学していない場合も含む）までに4人以上の兄弟姉妹がいる保護者に対して小学校及び中学校に通う第4子以降の給食費の全額を補助しています。</p> <p>これまで、園児の副食費の助成や小・中学生の給食費も第3子以降の兄弟姉妹から補助できないかなど議員からの質問・提案等行われています。しかし、園児の副食費で約5,300万円、小・中学生の給食費第3子以降の兄弟姉妹から補助した場合でも約3,000万円程度の予算が必要となり、現在の伊万里市の財政状況においては、ほかの事業との優先度から実現できておりません。</p> <p>今後も、引き続き財政状況を調査しながら、政策提言を検討します。</p>			

意見・提案・要望等	父子家庭への援助を		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>現在、伊万里市でのひとり親家庭への支援施策は、ひとり親家庭等医療費助成、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等があります。</p> <p>母子家庭と父子家庭とで支援内容等に差がある事業はほとんどありません。</p> <p>施策や支援内容については、子育て支援課へお問い合わせください。</p>			

意見・提案・要望等	夜間救急医療センターが午後 10 時までしか開いていない。 小児科の先生がいるとは限らない。		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里休日・夜間急患医療センターは、伊万里有田医師会に依頼し、平日の夜間は小児診療で、午後8時から午後10時まで、小児科の先生が診療されています。</p> <p>休日（日曜日、祝日）は内科・外科・小児科の先生が交代で診療されており、午前9時から午後5時までとなっています。</p> <p>また、県においては、毎日19時から翌朝8時まで小児救急電話相談（☎0952-24-2200 又は#8000）を設置されています。</p> <p>今後、小児診療については、議会としても子育ての一環として充実できるように要望をしていきます。</p>			

意見・提案・要望等	子育て支援のPR不足		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>子育て支援に関する施策は、児童手当、子どもの医療費助成、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成等があり、出生届や転入手続等の際に、市の窓口で直接案内が行われています。</p> <p>また、様々な子育て支援に関する施策（インフルエンザ予防接種費助成や病後児保育等）は、年1回広報誌や、ケーブルテレビ等で周知されています。</p> <p>議会として、現在の周知方法に問題はないかと思いますが、継続して検証し、問題が見つかれば改正するよう提言していきます。</p>			

意見・提案・要望等	出生率が低下している		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市における合計特殊出生率は、H25=2.11、H30=1.91 と減少していますが、県の平均（H30：1.64）及び全国平均（H30：1.42）と比べまだ高い数値となっています。しかし、伊万里市の人口は減少しており、出生数の減少もその要因となっています。</p> <p>現在伊万里市では、出生数の維持・増加を図るため、様々な施策に取り組んでいますが、議会としても、事業成果を委員会等で検証し、改善が必要であると認められれば、意見として提言していきます。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を好きな学校に通える自由校区に。 ・周辺部の学校は学区外から受け入れられる指定にしてはどうか。 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>現在、小中学校の通学区域については、市の規則により定められております。ただし、不登校や友達関係等の悩みなど特別な理由がある場合において、保護者の申請により、教育委員会の許可を受ければ、他の通学区域の学校への転入学が認められています。自由校区や周辺部への校区外通学については、生徒数による学級数の見込みが立てられないため、教員定数が決められず、施設の見直しや安全確保、通学への課題が発生すると思われます。</p> <p>議会としては、今後、コミュニティスクールの設置に合わせ議論を重ねていきたいと思っております。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが遊ぶ場所の遊具の整備 ・自治公民館単位での遊具整備 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>児童遊園の遊具整備については、国の方針として公園だけではなく施設や指導員の配置等が求められていることから、今後公園の在り方については、市とともに議会としても検討していかなければならないと思っています。</p> <p>自治公民館での遊具整備については、赤い羽根共同募金や宝くじコミュニティ助成事業等による助成制度があります。各自治区で協議していただきますようお願いいたします。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の職員数が少ない。職員増を望む ・ 保育士が足りていない 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>保育士不足は全国的な課題であり、伊万里市においても同様であることは、議会としても認識しています。不足となる主な要因は、責任の重さや給与の低さとなっています。</p> <p>私立保育園等については、待遇改善が図られるよう市からも国の補助制度を確実に周知するよう委員会等で要請しています。</p> <p>議会としても引き続き注視していきます。</p>			

意見・提案・要望等	<p>子どもの遊び方が変わってきている。スマホの依存が進んできているので保護者や学校の指導を</p>		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>スマホの依存については、全国的にも問題となっており、伊万里市でも不登校やSNSによるトラブルに及ぶこともあるため、各学校では専門の講師を招き、授業を実施したり、伊万里市連合PTAでも「スマホやSNS等の使用による課題」をテーマにしたパネルディスカッションが行われています。</p> <p>議会としては、この問題について調査・検討を行ったことがないため、今後、PTAや学校の取り組みなど意見を聞き、議会からも提言を行っていきます。</p>			

意見・提案・要望等	<p>周辺部から高校への通学が困難で中心部に集中するのでスクールバスなどの交通手段がほしい</p>		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>市では遠距離で通学する市立学校の児童生徒に対し、通学費の補助やスクールバスやスクールタクシーの運行を行っています。</p> <p>高校においては義務教育ではなく、県立、私立の違いや進学する地域もそれぞれ異なり、公平性などの課題などもあります。</p> <p>議会としても、市の周辺部からの高校への通学が困難であることは承知しておりますので、国、県への働きかけ等を含め、今後、関係機関との協議が必要であると思っております。</p>			

意見・提案・要望等	学力を向上させる取り組みが必要		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市では、各学校に学力向上対策コーディネーターを選任し、「授業の向上」「ICT 利活用教育の推進」「授業と家庭学習のつながりの強化」「家庭との連携」を共通事項として学力向上に取り組まれています。また、令和2年3月には将来を見据えた人づくりを最優先の課題と捉え、「プログラミング教育推進のまち」宣言がなされています。</p> <p>議会としては、学力向上と併せて、情報技術の進展による社会環境の変化に対応できる教育、また、子供たちの将来を見据えた教育事業となっているかを議論し、常任委員会や一般質問等を活用し意見を提言していきます。</p>			

意見・提案・要望等	椎ノ峰窯跡の整備		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>南波多府招地区には、江戸時代から陶器（唐津焼）が生産され当時の登り窯跡が残っています。その歴史的・文化的価値は高いが、樹木・豪雨等での被害も考えられ、保存対策が課題となっています。</p> <p>H30年に実施された東京藝大・東京学芸大による3D調査をもとに令和2年2月にはその報告会が行なわれています。</p> <p>保存会の立ち上げの準備が今なされており、今後各団体との連携のもと具体的なものが示されていく段階で、市の支援のあり方を考えていきます。</p>			

意見・提案・要望等	府招浮立の伝統芸能の継承		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>県指定重要無形民俗文化財、国選択無形民俗文化財となっている「府招浮立」は氏子で継承している伝統芸能ですが、少子高齢化の進展により、その継承が困難になってきているのは事実です。</p> <p>地元保存会としても、助成金を活用して道具や映像記録の機器を購入し、その維持に努められています。</p> <p>継承のあり方については、保存会での検討にゆだね、側面からの支援のあり方を考えていきます。</p>			

意見・提案・要望等	台湾ツバメシジミ PR と大野岳の草払い		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>大野岳の頂上部では、国内での絶滅が危惧されている台湾ツバメシジミの繁殖地があります。学術的価値が高いことから市天然記念物の指定を受け、地域での保護活動が開始されています。</p> <p>成虫の飛翔期の監視活動、梅雨前後の草刈り、「シバハギ」の移植など保存会と地域での取り組みを支える為、支援のあり方を考えていきます。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・のいちご保育園のような取り組み「子どもたちの居場所づくり」ができればいい ・お金がなく、援助交際をしている中学生がいる。そのような子どもたちにお金を落としてほしい。 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>子どもの貧困対策については、これでも議会の一般質問等により議論がなされてきました。</p> <p>また、令和元年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の改正により、市町村へも子どもの貧困対策に関する推進計画の策定が努力義務化されています。</p> <p>今後、伊万里市でもアンケート調査や推進計画が策定されるよう提言し、子どもの貧困対策に関する事業の拡充につながるよう努めます。</p>			

意見・提案・要望等	貧困スパイラルから抜け出す方策を		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>貧困スパイラルに陥る原因は多様化しています。また、誰でも陥る可能性があります。</p> <p>そこで、平成27年4月から生活困窮者自立支援事業が始まっています。この事業では、借金や滞納、就職活動のお手伝い、家計支援など幅広い相談に対して支援が行われます。</p> <p>相談の方法は、電話やメールも可能ですが、訪問し受け付けることも可能です。</p> <p>支援の方法は、相談を受け付けた後、ただ専門機関を紹介するだけではなく、必要に応じて、専門機関の窓口へ同行するなど伴走型の支援が行われます。</p> <p>まずは、相談してください。そこから支援が始まります。</p> <p>相談窓口は伊万里市社会福祉協議会（市民センター内）電話22-3931です。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの参加する行事ができなくなっている • 少子化で地域が希薄化が進んでいる • 地域ぐるみで子どもを支援する 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市における子どもの出生数は令和元年で401人と減少しています。また若者の市街地への転居により周辺部の地域では、子どもが減り小学校の統廃合の問題も出ています。</p> <p>議会としては、地域の特性を生かし、魅力あるまちづくりに寄与し、三世代が同居出来る様な施策を提言していきます。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの遊び場マップが欲しい • 子どもの居場所が少ない、コミュニティセンターを活用して居場所づくりを • 廃校を活用して子どもが集まる居場所づくりを • 学校、児童クラブ、家庭だけでなく0~12歳の居場所づくりには公民館、3世代交流の場に • 留守家庭児童クラブの教室が少ないので、子どもの居場所づくりとして、公民館の活用を 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>今年の4月から市内13地区にコミュニティセンターが誕生しました。</p> <p>これは、人口減少や少子高齢化などの進行を見据え、今後「住み慣れた地域で将来にわたって、元気に安心して暮らせるまち」を目指して、住民主導の自主・自立的な活動がより利活用しやすくするための機能や役割を充実するものです。</p> <p>各地区・町の「まちづくり運営協議会」において、コミュニティセンターを中心に子どもの居場所づくりについても、現在、さまざまな活動が行われています。</p> <p>「将来、子ども達が伊万里に住んで良かった」と思えるように教育環境の整備・拡充を皆様のご意見を聞きながら提言していきます。</p>			

意見・提案・要望等	子育て支援センターぽっぽの周知拡大してほしい、ぽっぽのような施設を、あと2-3箇所ほしい		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>子育て支援センターぽっぽの周知については、伊万里市のホームページやフェイスブック、広報伊万里、伊万里ケーブルテレビ等で、イベント情報が発信されています。</p> <p>増設については、身近な場所にあることが理想です。しかし、場所や人員等の整備とそれに関する予算が必要ですので、現実的には難しい状況です。</p> <p>そこで、現在は、ぽっぽを利用している保護者が、コミュニティセンター（立花、大川内、黒川、松浦、二里）や市民センターで月1、2回集まり、情報交換やスポーツ、手芸やコーラスなど楽しみながら交流されています。</p> <p>一緒に楽しむだけではなく、子育ての悩みを話したりすることもできますので、興味がある方は、子育て支援センターぽっぽ（電話22-5197）へお問い合わせください。</p> <p>なお、現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れ人数を調整しながら開設されています。</p>			

意見・提案・要望等	結婚、子育てに奨励金を出す		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市において、結婚、子育てに奨励金はありませんが、結婚に関しては積極的に婚活応援事業に取り組んでおり、また、子育て支援事業として、子どもの医療費助成、幼児インフルエンザ予防接種費助成、第4子以降の子どもの給食費全額助成など、経済的な支援が行われています。</p> <p>結婚、子育てへの奨励金については、市の財政上厳しいと思われませんが、議会として結婚・子育てへの支援の拡充を求めています。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> • 学校統合が必要、ある程度の人数の中で競争してほしい • 少子化で青嶺中学校を小中一貫校にしてはどうか • 大川小学校の老朽化問題 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>市では学校の統合や分離など適正規模について協議を行う伊万里市立学校規模適正化協議会を設置し、滝野小中学校と東山代小学校、国見中学校について統合するとの答申が出されております。</p> <p>また、今後も市内小中学校で児童生徒の減少が見込まれることから、現在「今後の伊万里市立学校の在り方について」協議がなされているところです。</p> <p>議会も保護者や地域住民の皆さまの意見を聞きながら、適正な学校規模、今後の改築計画など市へ提言していきたいと思っています。</p>			

意見・提案・要望等	<ul style="list-style-type: none"> • 給食費の無償化 • ふるさと応援寄付金を活用して、給食費、医療費の無料化を 		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市において、ふるさと応援基金は一般財源の確保が大変厳しい中、その活用は73事業に充当されており、大きな比重を占めています。</p> <p>現在、小中学校の児童生徒の医療費の助成に、7350万円ほど充当するなど子育て支援にも大きく寄与しています。</p> <p>また、給食費の無料化については毎年2億円を越す安定的な財源の確保が必要になります。その見通しはまだ立っていません。</p> <p>現在、多子世帯への一部補助が実施されておりますが、その拡大、充実になお取り組んでまいります。</p>			

意見・提案・要望等	行政主体の療育支援センターは絶対必要、まずは母子支援の強化を		
回答部署	文教厚生委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>佐賀県内6か所の児童発達支援センターのうち、行政主体で設置しているものは、県の「くすのみ園」のみで、他はすべて社会福祉法人により設置されています。</p> <p>伊万里市においては、障害のある児童の療育施設として、児童発達支援（7ヶ所）や放課後等デイサービス（7ヶ所）を行う事業所があります。</p> <p>また、地域自立支援協議会の障害児等支援部会において、児童発達支援センターの役割の一端をカバーすることができるよう、療育に関わる関係機関のネットワークの強化が図られています。</p> <p>行政主体の設置については、国が定める設置基準を満たす施設を整備しなければならず、整備は難しいと思われませんが、引き続き、要望していきたいと考えています。</p>			

意見・提案・要望等	助成、補助が他市の方が手厚い					
回答部署	文教厚生委員会		連絡先			
回 答 内 容						
① 子どもの医療費助成については、別表のとおり、県内10市での差はありません。						
市名	就学前自己負担額 1診療報酬明細書あたり		小学生自己負担額 1診療報酬明細書あたり		中学生自己負担額 1診療報酬明細書あたり	
	入院	通院	入院	通院	入院	通院
伊万里市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
佐賀市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	/
唐津市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで
鳥栖市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで
多久市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで
武雄市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
鹿島市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで
小城市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで
嬉野市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで
神埼市	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで	1,000円	500円を上限に 2回まで

②出産祝い金制度については、県内の10市では助成はなく、大町町、江北町、みやき町、吉野ヶ里町、玄海町の5町で実施されていて、祝い金の額や条件は自治体で差があり、金額は2～60万円となっています。

	大町町	江北町	みやき町	吉野ヶ里町	玄海町
第1子	3万	一律3万	3万	2万	10万
第2子	10万		5万	2万	15万
第3子	40万		10万	10万	20万
第4子	50万		20万	10万	50万
第5子	60万		50万	10万	50万

③ファミリー・サポート・センター事業は、就労や産前産後などで保育施設への送迎が出来ない人等（依頼会員）と育児を手助けする人（提供会員）をマッチングさせて、時間に応じた利用料を支払う事業で、本市でも実施しており（生後6ヶ月から小学校6年生まで）、600円～800円と平均的な利用料金となっています。

	対象者	利用料金
佐賀市	市内居住者又は勤務者 (0歳児～小学校6年生)	600円～700円
唐津市	市内居住者 (生後3か月～18歳)	500円～700円
鳥栖市	市内在住者又は勤務者 (乳幼児～小学校3年生)	600円～800円
多久市	市内居住者又は勤務者 (生後6か月～小学校6年生)	500円～700円
武雄市	市内居住者又は勤務者 (生後2か月～小学校6年生)	最初の1時間500円 以降30分毎350円
鹿島市	市内居住者又は勤務者 (生後4か月～小学校6年生)	700円～900円
小城市	原則 市内居住者 (0歳児～小学校6年生)	400円～600円
嬉野市	市内居住者又は勤務者 (0歳児～小学校6年生)	800円～950円
神埼市	市内居住者又は勤務者 (生後6か月～小学校6年生)	600円～700円

意見・提案・要望等	生産組合や青年部を通して子どもとのふれあい事業		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>JAにおいては、生産組合・青年部・女性部、更に梅部会等の組織で市内の小学校や保育園、幼稚園で田植え・稲刈り・芋ほり・梅干し作りなどを食農教育として行われています。</p> <p>また、県の取組として、登録された地域の農家の方が「ふるさと先生」として学校などに出向いて、農作物の育て方や収穫体験などの「食と農に関する出前講座」が行われております。</p> <p>市も食農教育と将来の農業後継者育成の意味を含めて、JAと協力して取り組んでいますので、議会としても、市の取組が今後も継続するよう見守りたいと思います。</p>			

意見・提案・要望等	コミュニティセンターの活用		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>令和2年度に「公民館」から「コミュニティセンター」へと変更されました。これにより、これまで教育施設として制限があった公民館ではできなかったことが、地域の特色を活かせる地域主体型運営として実施出来るようになり、活用も地域によって多様化してきます。</p> <p>具体的にどのように活用していくかにつきましては、市内各町で組織されている「まちづくり協議会」を中心に、新たな視点でコミュニティの取組について協議いただくこととなります。</p>			

意見・提案・要望等	コミュニティセンターを活用して各地区に子ども食堂を作れないか		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>コミュニティセンターを子ども食堂のために活用することは、現状では難しい状況です。仮にNPOやまちづくり協議会等がコミュニティセンターを利用して子ども食堂を運営しようとしても、保健所の認可申請や、コミュニティセンターの許可申請、そして鍵の施錠管理などクリアしなければならない問題が数多くございます。</p> <p>伊万里市においてはNPO「のいちご保育園」が子ども食堂に取り組まれておりますので、そちらをご利用いただきたいと思います。</p>			

意見・提案・要望等	学校、児童クラブ、家庭だけでなく0～12歳の居場所づくりには公民館、3世代交流の場に		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>コミュニティセンターを0～12歳の居場所として活用し、親子だけでなく、おじいちゃんおばあちゃんの世代も含めた3世代交流の場にしたいというご提案かと思えます。</p> <p>具体的にどのように活用していくかにつきましては、市内各町で組織されている「まちづくり協議会」を中心に、コミュニティの取組について協議いただくこととなります。</p> <p>議会としましても、市民、町民の皆様が有効に活用されるコミュニティセンターとなるよう期待しております。</p>			

意見・提案・要望等	保小老一体となって運営		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>ご指摘のご意見が何の運営に関するものかがわかりませんが、仮にコミュニティセンターの運用のことでありましたら、全ての世代が連携をしながら利用いただくことができるよう、各地域のまちづくり協議会等で活用方法について協議されてください。</p>			

意見・提案・要望等	スクールバスも登下校のみではなくコミュニティバスとして利用できないか		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>令和2年度現在では、スクールバスの運営については道路運送法等で制約がありますが、要望のようにコミュニティバスとして活用できれば、地域での高齢者等の移動手段としては有効と考えます。既にコミュニティバスを運行実施されている地域もございます。今後、バス運行協議会において課題として取り上げるよう市に要望してまいります。</p> <p>また、スクールバスとコミュニティバスを両方運行しているのは波多津町と黒川町となります。市も地元要望を受け検討されていると聞いておりますので、議会としてはこれを見守りたいと思えます。</p>			

意見・提案・要望等	婚活の年齢制限をなくしてほしい		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市の婚活については、成婚者数やカップル率が高い点から、他の自治体から視察の対象になっている事業のひとつです。</p> <p>婚活登録については年齢制限はありませんが、婚活イベントによっては参加者の年齢制限をし、毎月、年代ごとのイベントを企画し実施しています。</p> <p>一方で50歳以上の未婚者も多くいらっしゃいますが、1対1のお引き合わせを行って出会いの支援をしています。</p> <p>議会としましては、これまでも高齢のカップル成立のための企画立案等を担当部署に提案して参りましたので、今後も引き続き提案を行って参りたいと思います。</p>			

意見・提案・要望等	おせっかいおじさんお婆さんの存在は大切（婚活サポーター）		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>現在では、仲人を立てる人はほとんどいなくなりました。そのため、各町各地区より婚活サポーターの選出をして頂いています。現在25名ほど活動されております。</p> <p>未婚の方で出会いの機会が少ない方は是非ご相談ください。担当部署は婚活応援係（電話23-2950）です。</p>			

意見・提案・要望等	出生率が低下している		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市の合計特殊出生率（一人の女性が15～49歳までに生む子供の数の平均）は平成28年に2.01人、平成29年に2.04人、平成30年に1.91人と数字的には全国平均(1.44～1.42人)よりも高いことが特徴です。</p> <p>しかし、若い世代の女性の人口が減少しているため、出生数については平成28年に485人、平成29年に466人、平成30年に435人と徐々に減少しています。</p> <p>少子化の最大の要因については、若者の未婚化、晩婚化にあると考えられます。</p> <p>解消策として、若年層の経済的な基盤をしっかりと安定させることが肝要です。</p> <p>伊万里市も婚活支援、子育て支援等の対策に取り組み、人口減少を鈍化させるよう工夫をしています。</p> <p>議会としても、このような事業の継続、強化を働きかけて参ります。</p>			

意見・提案・要望等	少子化で地域の希薄化が進んでいる		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市でも市街地中心部の住宅地に人口が集中しております。また、人口過疎地域では子どもの数が激減しております。地域行事にも影響が出ており、地域の連帯意識が薄くなっていると感じております。</p> <p>地域の人口減少については、国において都会への一極集中の見直しが始まっており、市に対しても国に呼応した施策を講じるよう議会として働きかけていきたいと考えております。</p>			

意見・提案・要望等	留守家庭児童クラブの教室が少ないので、子どもの居場所づくりとして公民館の活用を		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>地域によっては既にコミュニティセンターの活用をされているところもございます。</p> <p>コミュニティセンターの活用は、使用条件に合った範囲で、まちづくり協議会、子ども会、町民会議等で協議をしてください。</p> <p>行政からのアドバイスを必要とする場合は、区長、議員、コミュニティセンター職員等に遠慮せずにご相談ください。</p>			

意見・提案・要望等	結婚、子育てに奨励金を出す		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市において、現在、結婚や子育てに対する奨励金はありません。</p> <p>少子化対策のひとつの手段としても考えられますが、議会としては、財政上の問題もあるため、今後の検討課題であると考えております。</p> <p>また、子育てに対する市の奨励金はありませんが、児童手当や児童扶養手当等の国の施策がこれに該当するものと考えております。</p>			

意見・提案・要望等	このご時世、上からの結婚出産の押しつけは難しい		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>市が取り組んでいる婚活支援事業はあくまで出会いの場の提供であり、実際に結婚、出産に至るかどうかにつきましては、あくまでも本人同士の意思でございますので、押しつけではないと考えております。</p> <p>議会としては、今後も市の婚活支援事業を見守りたいと考えております。</p>			

意見・提案・要望等	大川小学校の老朽化問題		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市の計画では、現在、伊万里中学校の改築に着手しており、引き続き東山代小学校の改築に取り組まねばなりません。</p> <p>大川小学校の老朽化の実態は把握していますが、現時点では、改築など具体的な方針は決まっておりません。</p> <p>しかし、過疎地域での少子化は目に見えて進んでおりますので、今後、学校規模適正化協議会にて検討される予定となっております。議会においても、公共施設最適化調査特別委員会を設置しており、この問題に強い関心を持って取り組んでおります。</p>			

意見・提案・要望等	市内に遊び場が少ない。腰岳や大平山の頂上付近を公園化して整備してほしい		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>現在の市の財政状況を勘案しますと、山頂付近を造成して公園を作ることは困難です。</p> <p>議会としても限られた予算を活用し、既存の公園の維持管理に集中していかなければならないと考えますので、まずは現在ある公園の活用をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、大平山につきましては、既に玄海国定公園として位置づけられておりますので市が造成することはできませんが、標高 331m の山頂にある展望デッキからは伊万里湾を眺望することができます。また、公園内にはベンチやウッドデッキがあるほか、駐車場やトイレも完備されておりますので、自然を楽しむ癒しの空間としてご利用ください。</p>			

意見・提案・要望等	市道の整備		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>伊万里市は広い市域を抱えており、総延長距離 951 km の市道があります。財政状況に鑑み、緊急性の高い場所から補修、整備を行わざるを得ない状況です。</p> <p>道路の整備に関しては、令和 2 年度に維持管理関係で 87,175,000 円の予算を組み対応しています。また、破損個所の把握のため道路パトロール車による巡回を行っています。</p> <p>しかし、前記の通り面積が広い要素と路線数の多さに市も苦慮しているところで、今後もしっかりと予算化が図れるよう議会としても要望してまいります。</p>			

意見・提案・要望等	公園の整備		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>財政が厳しい状況の中、義務的経費に占める割合が非常に高く、公園整備にかかる予算は近年減少傾向にあります。しかしながら、今回のコロナ禍の影響で判明したように、一日中家庭の中で過ごすことは子どもたちにとって非常にストレスになっています。その対策として公園整備は重要であると考えます。</p> <p>また、本市に寄せられているふるさと応援寄附金の使用目的には、子どものためと指定されているものもあるため、このような大切な寄附金を活用していくよう市に働きかけを行いたいと考えます。</p>			

意見・提案・要望等	夢みさき公園の展望について		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>夢みさき公園につきましては、本市の公園の中では規模の大きな施設であり、市内外の多くの皆様にとっての憩いの場として活用されております。しかしながら、既存の遊具施設の維持管理費がかかっており、新たな遊具の整備をする予算化は難しい状況です。</p> <p>議会としては、市の動向を見守りつつ、国の事業等で活用できるものがあれば、事業化を働きかけてまいります。</p>			

意見・提案・要望等	なり手不足で農地が荒れる		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>後継者不足は農家の永遠の課題であります。担当部署である農業振興課ではJAと協議を重ね、様々な取組を行っておりますがすぐに効果が出るものではなく、地道に取組む必要があります。</p> <p>また、耕作放棄地対策としては、国の制度である「中山間地域等直接支払」や「多面的機能支払」などがあり、共同で農地保全を行う団体への補助があります。その他にも「農地バンク」で貸し借りのあっせんを行う制度などがございます。</p> <p>議会としましても、まずはこのような施策を活用いただきたいと考えておりますので、市の担当部署（農業振興課・農業委員会）にご相談いただきたいと思います。</p>			

意見・提案・要望等	人口増加の環境づくり（文教より）		
回答部署	環境建設委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>人口増加の要因としては若者が生活できる環境づくりが必要です。そのために議会として、</p> <p>①積極的な企業誘致を実施し、地元で働く場所を確保すること。</p> <p>②結婚しやすい環境を整えるため、婚活支援をすすめること。</p> <p>③出産、育児がしやすい環境を整える支援体制を充実させること。</p> <p>④市外からの移住を推進するための移住定住支援を充実させること。</p> <p>等を市に提案して参ります。</p>			

意見・提案・要望等	議場の傍聴席に文字表示を求めます		
回答部署	広報広聴委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>令和2年に唐津市議会の議場の傍聴席に設置され、聴覚障がい者に喜ばれていると新聞報道されました。</p> <p>伊万里市でも音声から自動で文字化する「会議録作成ソフト」の導入を検討されていますので、議場の傍聴席に応用できないか検討します。</p>			

意見・提案・要望等	雑談の中から良い意見が出る、その場を増やすべき（議会は分野別の語ろう会を活かすべき）		
回答部署	広報広聴委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>令和2年11月に商工会議所青年部と意見交換を行いました。今後も様々な団体と意見交換会を実施したいと考えています。</p> <p>詳しい制度は議会事務局（電話23-2594）までお問い合わせください。</p>			

意見・提案・要望等	議会だよりの視察報告を読んだが、今後伊万里に活用するための具体的提案をしてほしい		
回答部署	広報広聴委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>議会だよりはスペースの都合もあり、詳細な行政視察の報告ができておりません。</p> <p>今後は、行政視察報告書がホームページなどで公開できないか等を検討します。</p>			

意見・提案・要望等	市長の目が向いてない部分に目を向けてほしい		
回答部署	広報広聴委員会	連絡先	
回 答 内 容			
<p>市長や市役所職員が気づかない点を指摘や提案するのも、議会の大切な役割です。</p> <p>市議会へご意見をお寄せいただけましたら幸いです。</p>			